

TIKKURILA 外部塗料 壁・軒天・破風・トリムボード用

塗装方法

1) 作業前に、必要な準備を行い、以前の塗装状態などを確認します。

1. 必要な作業ツール、製品などをすべて事前に準備してください。
2. スムーズに作業を行うため作業手順を確認してください。
3. ガラス面などの塗装を行わない面を保護し、周囲環境は特に注意して保護してください。



2) 表面から汚れを取り除きます。

新しい面

ダストブラシを使用してほこりやその他の付着物を取り除きます。

既塗装面

汚れたり、カビが生えたりしている表面をカビ除去剤等で洗い、十分にすすぎ、しっかりと乾燥させます。



3) 既塗装面の場合は、剥がれ落ちて付着力の弱い古い塗装面を除去し、同時に変色した木の表面を除去します。

1. スクレーパーなどを使用して取り除きます。
2. スチールスパチュラなどでレジンを取り除き、釘のヘッドなどメタル部分のさびを落とします。
3. 光沢があり硬い、良好な状態の古い塗装面を取り除くか、サンディングして、塗料がのりやすいように仕上げます。サンドペーパー（最初に # 100、仕上げを # 150）をかけ、マットな状態にします。サンドのカスはきれいに取り除きます。
4. 木部の悪くなった部分は取り替えます。



4) 新しい面や木肌の見える部分はバルッティベース(プライマー)を塗装します。(1度塗り)

1. プライマー塗装の際は、よくかき混ぜてから使用してください。
2. 継ぎ目や端を注意して塗装してください。
3. 24時間後に上塗り可能です。



5) 上塗り (刷毛 2度塗り)

1. 使用前および使用中に塗料をよく混ぜてください。
2. 塗装の継ぎ目を避けるために均等に刷毛で端から端まで、一度にペイントを慎重に塗装します。
3. 木の継ぎ目や端面も丁寧に塗装してください。

均一な表面を得るには、色の違いを避けるために、1つの容器に十分な量の塗料を混合して使用してください。木材を紫外線から保護するため調色された塗料をご使用ください。



透明 外装木材用プライマー (木材防腐保護塗料) : バルッティベース

木に吸収され、微生物増殖などを防ぎます。

通常希釈の必要はありません。

通常は1度塗りです。吸収の良い木材の場合は、2度塗りが必要なこともあります。

木材を太陽光の悪影響から保護する作用が無いので、できるだけ早く、上塗りを行います。

半透明・調色可 : バルッティプラスカラー、バルッティプラスケスト、バルッティアーケティック

天候、湿気や紫外線の悪影響から保護し、また微生物増殖などを防ぎます。

不透明・調色可 : バルッティオパーク

隠蔽製、耐候性、耐久性に優れています。

■ 塗装の時期とコンディション

- 外壁は、建築中できるかぎり早い時期に下塗り塗料のバルッティベースを塗ると腐朽、カビ、青グサレを防ぐことができます。

- 塗装前にログが十分乾燥しているかどうか確認してください。ログの含水率は 20 %未満が適切です。
- ログや板の木口は下塗り塗料と仕上げ塗料を注意深く塗ります。木口からは水分が構造体に吸収されやすいからです。
- 塗装は塗装面が充分乾燥しており、気温は 5℃以上、湿度は 80 %以下の条件でおこないます。雨天、または雨天になりそうな時はおこなわないでください。無風で曇天が木材塗装に最適です。雨が降った後は木材の表面が完全に乾いてから塗装を続けてください。

■ 木材表面の清掃

- 塗装する面の埃やゴミを取り除きます。
- カビや青グサレが見られる場合はカビ除去剤で洗浄します。深部まで到達した青グサレは、除去剤で洗浄しても完全には落ちません。その場合、青グサレの色が目立たないような、濃い色やブルーグレー系の半透明調色塗料あるいは不透明塗料を選ぶとよいでしょう。

■ 清掃用具

ログ面の清掃に役立つ用具にはワイヤーブラシ、スクレーパー、ブラシ、目の粗いプラスチックのタワシまたは金ダワシ等があります。

■ 塗り方に関して

- 刷毛塗りのほうがスプレーより良い塗装方法です。少なくとも初回の塗装は刷毛で行ってください。
- 半透明塗料の塗装中は、刷毛の継ぎ目が乾かないように連続して塗ります。乾いた部分に重ね塗りした場合、他の部分より色が濃くなってしまいます。このようにならないように、ログは一本ずつ、水平方向の端から端まで連続して塗るようにしてください。

本和訳は、便宜のために作成された英語/フィンランド語版原本の非公式訳の概要説明です。原本と本和訳の間に齟齬がある場合、原本が優先します。